

平成28年度 第7回 新道区地域協議会 次 第

日時：平成28年12月8日（木）午後6時～
会場：新道地区公民館 多目的ホール

1 開 会

2 議 題

(1) 研修会のふりかえりについて (資料1) 【10分】

(2) 今後の予定について (資料2) 【10分】

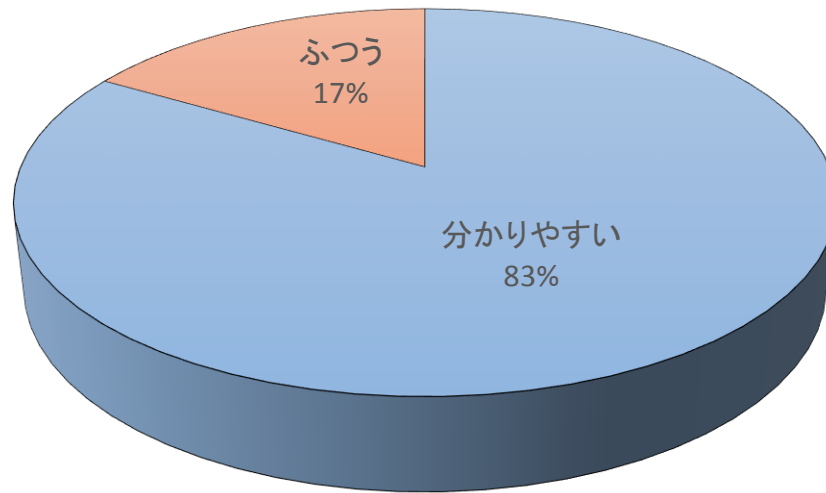
3 その他 【10分】

4 閉 会

新 道 区 の
ア イ コ ト バ

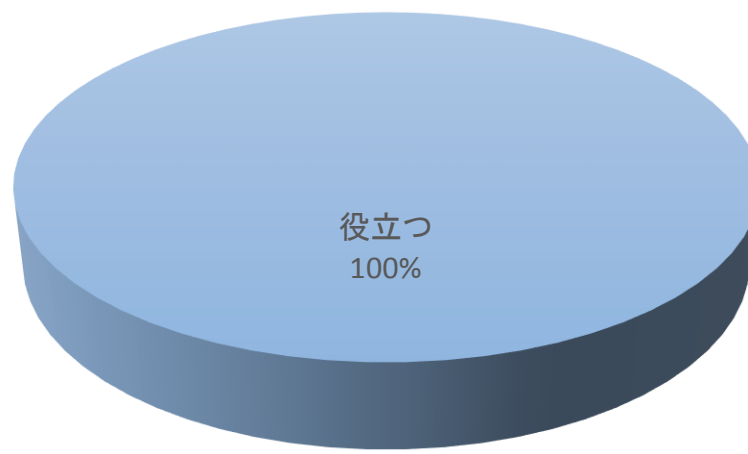
- ◎ 発言は、簡潔に話そう！
- ◎ 発言しやすい雰囲気をつくろう！
- ◎ 個人の意見を平等に扱おう！

Q.今日の研修は分かりやすかったですか。

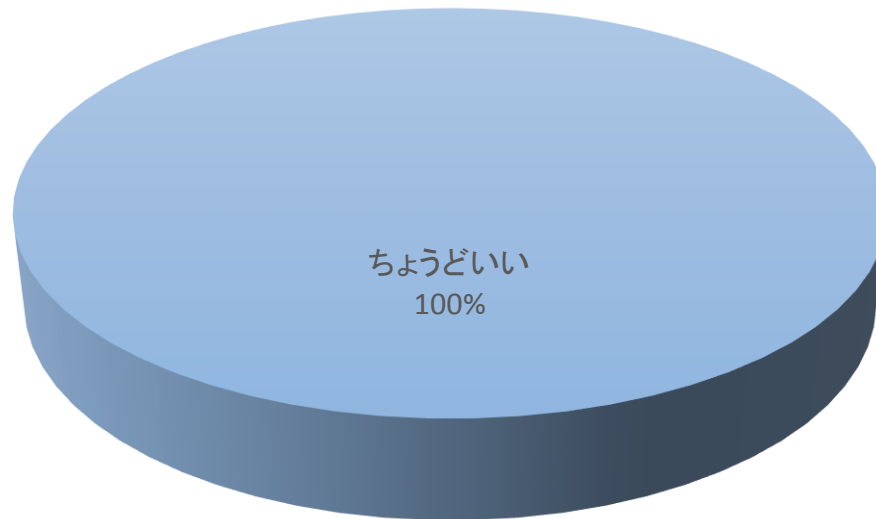


N=12

Q.今後の円滑な会議の運営に役立つと思いますか。



Q.研修時間はどうでしたか。



Q.今後、受けてみたい研修があれば記載してください。

- ・ 年度に渡る行政方針
- ・ もう一度、ステップアップした内容
- ・ 都市計画について
- ・ 上越市の観光活発化
- ・ 人前で上手に話す方法

Q.地域協議会に関する事項で、事務局に伝えたいことがありましたら記載してください。

- ・ 協議会のルールを明確にして欲しい(支援事業の条件等)
- ・ 支援事業に掛ける時間が少ないため改善して欲しい
- ・ 次第には開始時間だけでなく終了時間も書いて欲しい

新道区のアイコトバ(スローガン・めあて)とその取扱い

- ◎ 発言は、簡潔に話そう！
- ◎ 発言しやすい雰囲気をつくろう！
- ◎ 個人の意見を平等に扱おう！



活用方法は？

活用例：・壁に掲示する

・会議の最初に、議事録確認者が読み上げ、それに続き委員が復唱する

・
・

資料No. 1

項目	改善すべき事項・意見	改善策(一例) ⇒H29募集要項に記載するなど	検討結果 (H29募集要項に記載する) 第8回で協議・整理
高額の提案事業	<p>・700万円の予算に対して、1つの提案が60パーセントを占めていたので、1件当たりの助成額の金額の上限を設けて、多くの団体に助成金が行き渡るようにしたらよいと思った。</p> <p>・700万円の予算の内、300万円の提案があったが、昨年度決められた新道区の採択方針の中で、「優先して採択する事業以外については、制度の主旨や全体のバランスなどを考慮して採択する」と書いてある。優先して採択する事業とは何を指すのか、ということについては新道区史の事業を3年計画でやっていくのでお願いするということを決めた経緯がある。これはヒアリングでも補足している。</p>	<p>【申請額の上限設定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1提案あたりの補助申請額の上限を〇〇〇千円とする。 ・年次計画事業は、対象事業から外す。 	
対象事業(対象経費)	<p>・平成28年度の新道区の採択方針をみると、今までの例からいっても、前は駄目だったので今回も駄目にしなければいけないというような例もあった。来年度に当たってはもう少し細かく運用面を決めたほうがよいと思う。 (例:剣道の胴具に関してはよくて、野球のユニフォームは難色を示すような結果→提案者に対しては不快な思いをさせているはず)</p> <p>・これからは、スポーツ団体の補助もしなければいけないと思う。試合用のユニフォームはある程度優先してあげたほうがよいと思う。その次に町内会という順でやっていかないと、クレームが出てくると思う。</p>	<p>【ユニフォームの取り扱いについて】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象のなるケース、ならないケースを明確化する。 (例:〇年以上使用しているユニフォームは申請し更新できる) 	
ルール見直(全体優先)	<p>・聞くところによれば、不採択事業になった提案者からは、今の委員は全員クビにした方がよいと言っている人がいるそうだ。ということは、提案者にとっては審査結果が不本意だったということだ。地域活動支援事業なので、<u>新道区全体のことを優先して、個々の町内会のことはその次にやらなければおかしい。</u>提案を見れば各町内会で自分たちの都合のよいことを提案してきている。その中でも、<u>全体に係わることを優先すべきだ</u>と思う。</p> <p>・新道区は南部、中部、北部と3つに分かれているので、<u>全体に係わることを優先する事業としてきちんと線引きをした方がよい</u>と思う。また、1つの町内会から複数提案を出すことも止めていただき、各団体1提案などにした方がよいのかとも思う。</p> <p>・皆さんから理解を得られるような採択方針をPRして、各町内会ではなく、新道区の南部、中部、北部なり、<u>少なくとも2つ以上の町内会で提案する</u>ようにしていったらどうか。</p> <p>・最初は、区内全体のことをやるという話が、お金が余っているからといって、2次募集をして各町内が自分たちの所に金を使うのはおかしいと思う。<u>区全体を考えるはずなのに、何のための地域協議会なのか</u>と思う。</p> <p>・町内会で負担すべき事業が出てきていると思うが、この支援事業を用いてよいのか疑問だ。今後は明確にして、<u>不必要な提案は出さないようにして、予算が余れば市に返還した方がよい。</u>町内会費を使うよりも、支援事業を使おうとなると思うので、今後のために考えてもらいたい。</p> <p>・自分たちの活動でこの町を何とかしようということで、必要な費用を出しているのだからこの事業には価値はあると思う。だから、<u>できるだけ自由に提案を出してもらった方がよい</u>と思う。提案して、本当にそれがよいのかどうかを協議するのがこの場だ。<u>提案者にあまり負担をかけると提案が出て来なくなる</u>と思う。</p>	<p>【提案者の条件強化】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単一町内会、単一町内会に帰属する団体(老人会等)については、提案不可とする。(または「下位の事業」に位置付ける) <p>(例:北部地区〇〇運営委員会で1件 等)</p>	

(手順は踏んでいるが、内容は拮抗している)

(内容は拮抗している)

項目	改善すべき事項・意見	改善策(一例) ⇒H29募集要項に記載するなど	検討結果 (H29募集要項に記載する) 第8回で協議・整理
	<p>・当初は中部、北部、南部で一括して審議して提案を出す聞いていた。だが、今は各町内会がバラバラで出しているのが現状だ。新道地区全体という大義名分の中でやれば一番よいが、それは建前であって、実際、全体的な提案が出るかと言えば、ほとんど出ない。そうすると各町内会で困っているのだから提案しようというかたちにならざるを得ないのが実態だと思う。提案の中身が事業の趣旨に合うものであれば、各町内会で提案しても構わないと思う。今後はそんなかたちも含めて議論すればよいと思う。</p> <p>・当初は、単独町内会からの提案は相応しくないと考えられ、町内会長協議会などから提案をしてくださいとの話だった。スポーツ団体等からの提案はあったが、各町内会からの提案はなかったため、700万円の予算に対して400万円しか提案が上がってこなかった。故に300万円も余ってしまい、2次募集や3次募集をかけて、県道板倉直江津線にグリーンラインを施工した。このような経緯から、各町内会から提案してもよいということを決めたのだ。それによって、配分予算以上の提案が出てくるようになったのだ。</p> <p>・案を出すなど言っていない。採択の際に、不適応とすればよいので、配分額が余ったら市に返せばよいという考えだ。</p>		
配分額と執行残	<p>・市全体のことを考えれば、新道区に700万円の配分予算があるからといって、無理して全部使わなくてもよいと思う。ちゃんとした事業でなければ、カットし残額を出して、市に有効に使ってもらった方がよいのではないかと。予算の繰越しはできないので、他のところで有益に使ってもらったほうがよい。</p> <p>・無駄使いの必要はないが、残ったら返すというのは、皆さんに受け入れてもらえる結論なのかと思う。</p> <p>(参考) ・配分予算は毎年大体同じなのか。 →事務局回答「今年度は、28区合わせて1億8千万円だった。1つの地域自治区当たり、450万円を均等割し、残額を人口割で配分している。このため、人口に大きな変化がなければ例年似たような額となる」</p>	<p>【予算の執行方法】 ・補助申請額について、内容を精査し、事業を達成するために必要な経費だけを助成する。 ・執行残については、無理に消化することが無いよう、追加募集は行わない。</p>	
募集期間・PR	<p>・募集期間が短くて焦ってしまう。締切までに町内で調整をするのだが、提案を探しているうちに1週間、2週間がすぐに経ってしまい時間が足りない。</p> <p>・新道地区の提案条件があまりにも曖昧すぎ、町内会長が交代してしまい話が上手く伝わっていなかったこともあるので、皆に分かるような約束にしないといけない。</p> <p>・一般の方は、地域活動支援事業がどのように使われているのか、市民に知っていたほうがよいと思う。市民にもう少し説明をして理解を得ないと、このお金はあまり活用されないのではないかと。</p>	<p>【募集期間の延長】 ・これまでより募集期間を延長する。 (例:40日間、50日間…) ※直近4か年度の実績 ・H25:4/1～15(15日間) ・H26:4/1～30(30日間) ・H27:4/1～20(20日間) ・H28:4/1～28(28日間)</p> <p>【町内会長への引き継ぎの工夫】 ・所属する町内会会長が交代する際は、委員も立ち合い、制度と新道区の独自ルールについて確認する。(また、募集期間等もしっかり引き継げば募集期間の延長せずに事前準備が出来るはず)</p> <p>【周知方法の工夫・拡大】 ・委員より、新たに“効果的な周知方法”を提案してもらおう。 (興味を持たせる工夫)</p>	

項目	改善すべき事項・意見	改善策(一例) ⇒H29募集要項に記載するなど	検討結果 (H29募集要項に記載する) 第8回で協議・整理
	<p>・年度末に地域協議会と町内会長との意見交換があったが、町内会長にだけ説明すればよいのではなく、<u>地域住民に分かってもらうための浸透性が必要</u>だし、地域住民が理解したらもっと有効的な予算の使い道も出てくると思う。来年度に向けての指針は、このような話合いの積み重ねが目安になってくればよいと思う。</p> <p>・<u>事務局のPRが足りなかった</u>のではないのか。私も知らなくて、人づてに聞いたけ だった</p> <p>・<u>町内会長だけに説明すると、どうしても自分の町内のことばかり考えてしまうので、全体的なところで説明が必要だ。</u></p> <p>(事務局の補足) 「活動支援事業は、地域課題の解決のため、自由な発想に基づいて皆さんに提案を出してもらうので、提案の段階ではたくさんの事業が上がってくる。「事例集」は毎年発行しているが、ホームページにも掲載されている。28区の地域活動は公表されているが、その事実を知らない方も多いと思う。年度末毎に、<u>地域活動支援事業の説明会</u>を行っているが、<u>広く一般の方に参加していただけないのは、私どもも悩みの種</u>でもある。今回提案が多かったのは、委員改選に伴いPRの回数も多かったことあったからだと考える。区によっては活動報告会で提案団体から事業の成果や課題を発表していただいているところもある。<u>市の一層のPRが必要</u>であることは十分認識しているが、<u>今後委員さんから意見をいただきながら、よい方向に進んでいければよい</u>」</p>	<p>参考:市が行っているPR</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地方紙、コミュニティ新聞への情報提供と掲載 ・市広報紙 ・FMじょうえつ(ラジオ)⇒自治区だよりは毎週5回放送 ・町内会回覧 ・募集パンフレットの全戸配布 ・地域活動フォーラムの開催(12月) ・活動報告会と事業説明会(3月) 	

メモ欄